

天体観望会・天文講演会

船田 工

1．天体観望会

夏休みが近づくと、小学校、地区子ども会、各地の公民館、家庭教育学級などから、天体観望会の指導の依頼が私個人にくる。観望会の参加者が多い場合には、天文協会の事務局に指導者の派遣をお願いしている。観望会に持っていく望遠鏡は、12.5cm屈折赤道儀、スライド映写機と天体のスライド約200枚、映写幕の天体観望会「三種の天器？」を自動車に積んで出掛けている。万一途中で曇天になって、観望ができなくなった場合には、天体のスライドを映写しながら、天体の話ができるようにしている。

小学校の場合には、PTA主催のものが多く、親子天体観望会となるために参加者も多いので、天文協会員と共に観望会指導に出掛けていることが多い。小学校に次いで多いのが、公民館主催の夏休み親子天体観察教室である。大分市では、過去に大南公民館、大在公民館、植田公民館、坂ノ市公民館、細公民館、倉掛公民館、上市公民館が実施していた。このほかの観望会としては、地区の子ども会や家庭教育学級、市町村主催のスターウォッチングがある。私個人として、過去には少年自然の家関係の観望会もあった。この他に、大分県の環境アドバイザーとして派遣事業の観望会にも出掛けたこともあった。

1985年(昭和60年)から天体観望会の指導記録を書き始めたので、後述のようにまとめてみた。天体観望会で困るのは、殆どが夏休みに集中するために、日程の調整ができにくいことである。1回の観望会で月と惑星を望遠鏡で見せたいとすると、上弦前後の月が見える期間となり、40日間の夏休み中では極めて限られた日数になるからである。また、予定した日が雨天になったりすると、日程が詰まっているために他の日が取れにくく、その年の観望会は中止になることもあり、観望会では「天を運に任せる？」しかないのが現実である。

天体観望会での指導は、勤務していた時代には、1日の勤務が終わって疲れた状態で行くが、目的の天体を観察でき、子ども達から「土星の環が見えたすごい」、「月のクレーターが美しい」、「天王星が見えてうれしい」、「オリオン星雲が見えた」、等の感動の言葉を聞くと、疲れもすっかり忘れてしまうのである。また、天体観望会の後で、後に掲載してあるような観察の感想文が小学生から送られてくることがある。私の宝物で天体指導の記録として、全て大切に保管している。

2 . 小学校・中学校出前講座

小学校や中学校の出前講座の場合には、「星の世界をたずねて」の演題で、その学年で勉強する天体の内容の「月・惑星・星座・星の一生」等について、スライドを映写しながら話をする。また、日食の観測で外国に行ったので、日食のことや外国のこと話す。文化祭の場合には、「星追いの旅」の演題で、皆既日食や天体のこと、それに外国旅行の話もする。

3 . 天文講演会

学校勤務の時代は理科教師であった関係で、教育関係の機関から研修会の講師の依頼が多かった。平成5年(1993年)に学校を定年退職してから、2年後に自治体の天文台である関崎海星館に6年間勤務したが、この勤務が縁で各種団体から講演会の講師の依頼が多くなるようになった。天文とはあまり関係のない各種団体からの依頼も多かった。

講演会の演題は、各主催者によって多少変えているが、一般的には次のような演題で講演している。

《演題》

星追いの旅 星追い人生 星の世界をたずねて
外国を旅して

これらの演題で講演しているが、対象者によって演題を変えている。共通する内容は、次の通りである。

前半～・星との出会い

- ・外国の旅(皆既日食等で出掛けた外国の自然や遺跡)
南極の自然・エジプトのピラミッド・メキシコの遺跡
世界三大瀑布・喜望峰・万里の長城・モスクワなど

後半～・天文

- 太陽・皆既日食
その時期に見えている天体 月・土星などの惑星・星座
・星の一生・宇宙など

外国を旅して

皆既日食の観測を含めて海外旅行を29回し、45カ国を旅行したので

- ・日食や一般旅行で出掛けた外国の様子
南極・エジプト・ロシア・オーストラリア・フランス
イタリア・ブラジル・アメリカ・メキシコ・中国・韓国
など
- ・外国の自然
三大瀑布～ビクトリア・ナイアガラ・イグアス
アフリカの砂漠・グランドキャニオン・喜望峰など

・外国の遺跡

エジプトのピラミッド、ルクソール神殿

メキシコのテオティワカン遺跡、ウシュマル遺跡

ジャワのボロブドール遺跡・中国の万里の長城など

4．天体観望会・講演会の記録方法

2006年（H18年）

8月4日 (金) 晴	大分市坂ノ市小学校4年生～40名 19:00～20:40 月・木星・星座観察
------------------	--

5．天体観望会・講演会の記録

1986年（昭和61年）～1999年（平成11年）

NO	実施年度	天体観望会	講演会	合計	参加人数	備考
1	1986年昭61	17回	18回	35回	?	学校・公民館等
2	1987 62	12	0?	12	?	? 記録なし
3	1988 63	12	0?	12	471人	
4	1989 平1	14	1	15	702	
5	1990 2	16	1	17	1780	
6	1991 3	5	0?	5	292	
7	1992 4	10	0?	10	992	
8	1993 5	24	5	29	923	
9	1994 6	12	7	19	1292	
10	1995 7	6	6	12	2115	
11	1996 8	6	1	7	414	
12	1997 9	9	6	15	505	
13	1998 10	11	1	12	531	
14	1999 11	17	7	24	1489	
合計		171回	53回	224回	11506人	
平均		12回	5回	17回	958人	

2000年(平成12年)～2010年(平成22年)

NO	実施年度	天体観望会	講演会	合計	参加人数	備考
1	2000年平12	8回	11回	19回	1213人	学校・公民館等
2	2001 13	9	8	17	1038	
3	2002 14	13	15	28	1596	
4	2003 15	15	17	32	2138	
5	2004 16	14	31	45	3060	
6	2005 17	12	28	40	2642	
7	2006 18	14	14	28	1546	
8	2007 19	15	13	28	1973	
9	2008 20	5	11	16	889	
10	2009 21	7	24	31	2906	
11	2010 22	5	19	24	3453	
合計		117回	191回	308回	22454人	
平均		10回	17回	27回	2041人	

1986年～2010年までの25年間集計 532回

25年間の参加者数～33、960人

観望会～11回/年 講演会～11回/年 合計～22回/年